

事業名	生きがい対策費	財務コード (事業)	169206
-----	---------	---------------	--------

細事業名	山梨県老人クラブ健康づくり・介護予防支援事業費補助金
------	----------------------------

担当部課室	福祉保健 部 長寿社会 課 企画在宅福祉 担当 (内線)	3113
-------	------------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 H15 年度 ~ 終期 年度
------	-------------------

実施主体	補助(山梨県老人クラブ連合会)
------	-----------------

事業の目的	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	山梨県老人クラブ連合会	体制の確立と事業の活性化がなされ、加入する高齢者の健康が推進されている。	高齢者が健康で生き生きとした生活を送ること。

事業の内容 主に 24年度	<p>市町村老人クラブ連合会が行う健康づくり事業に対する県老人クラブ連合会の支援体制の確立と、市町村老人クラブ連合会における事業の活性化を促進し、健康づくりを推進する。</p> <p>補助先: 山梨県老人クラブ連合会 補助率: 国・県 1 / 2 補助対象経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり委員会の開催 高齢者の健康ウォーキング普及・啓発事業 市町村老人クラブ連合会が行う健康づくり事業支援事業
---------------------	--

根拠法令等	老人クラブ健康づくり・介護予防支援事業費補助金交付要綱
-------	-----------------------------

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	健康づくり委員会の開催	1回	1回	2回	2回	活動指標	目標設定の考え方 前年度と同規模の事業であること
	健康づくり・体力づくり各種研修会の開催	5回	5回	7回	7回		1回 4回
活動指標達成率 (実績値 / 目標値)			%				
成果指標	健康づくりリーダー養成数(延べ人数)	524人	500人	474人	500人	成果指標	目標設定の考え方 前年度と同規模の事業であること
	成果指標達成率 (実績値 / 目標値)			94.8 %			
決算額、予算額	920		868	828	750		成果指標によらない成果
(千円) うち一財額	460		434	414	375		老人クラブ会員に対して研修会を実施することで、健康づくりリーダーを養成し、研修内容を市町村老人クラブ及び単位老人クラブへ持ち帰ってもらうことで、県内の老人クラブの健康づくり活動の充実や会員の健康の増進を図っている。
所要時間(直接分)	60 時間		60 時間	60 時間	50 時間		
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	60 時間		60 時間	60 時間	50 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,050円 × 所要時間)	123		123	123	103		

これまでの事業の見直し・改善状況

平成21年度行政評価(内部評価)により、補助金交付要綱の見直し・改正を行い、山梨県老人クラブ連合会が実施する事業に「介護予防事業支援事業」を加え、市町村老人クラブ連合会が行う健康づくり事業への支援体制の強化を図った。

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方	数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
H24年度活動指標達成率		健康づくり委員会の開催回数は、目標値1回に対して実績値2回であり、目標達成率は200%となり、予定を超えた活動量がある。 また、健康づくり・体力づくり各種研修会についても、目標値5回に対して実績値7回であり、目標達成率は140%となり、こちらも予定を超えた活動量となっている。研修会は国中と郡内で開催するようにし、内容もニュースポーツを積極的に取り入れるなど、参加者の増加を図るための取り組みを行っている。	
	a		

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方	必ず記入すること
H24年度成果指標達成率		健康づくりリーダーを養成するために実施している研修会への参加者数は、目標値に届かなかったものの9割を達成しており、意図した成果はほぼ挙げている。 研修会に参加した老人クラブ会員は、健康づくりリーダーとして、市町村老人クラブ連合会の実施する健康づくり事業や、単位老人クラブでの健康づくりに関する活動のなかで、研修内容を参考にした取り組みを行うことにより、市町村老人クラブ連合会の事業の充実や、老人クラブ会員の健康増進を図っている。 今後も、魅力のある研修会となるよう、実施内容や開催場所などについて検討を重ねることで、参加者の増加を図っていききたい。	
b	b		

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)

見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	高齢化が進み、4人にひとりが高齢者という状況において、自立して過ごすことのできる期間である「健康寿命」の延長が課題となっている。県老人クラブにおいては、本事業において市町村老人クラブ連合会への支援と言う形で介護予防を推進しているところだが、健康づくり・介護予防の啓発をより一層進めてもらうために、広報活動のあり方を検討する必要がある。 また、協議・交付申請・実績報告の事務について、入力漏れやシートの操作によって自動計算が合わない等の問題が生じており、確認作業に時間がかかっている。入力箇所以外のロックや検算式の追加などエクセルシートの改善を行い、県老連担当者および県担当者の事務効率の向上を図る必要がある。	k

・「以外の判断項目」の欄
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	県で実施している「山梨県高齢者地域支え合い活動促進事業費補助金事業」内において見直しを行い、平成26年度から老人クラブ会員向けの広報紙の発行をすることとなったため、そのなかで健康づくり・介護予防についての情報発信を行う事で本事業の活性化を図っていく。 また、平成25年度内に申請等のため県が配付している電子シートについて 入力箇所以外の部分を誤って変更しないようにロックをかける。印刷範囲外に検算や確認用の数式を入力する。といった改善を行い、人的なミスを防ぐようにすることで、平成26年度から事務効率の向上を図ることとする。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。